
キリスト教教理入門

1. 神学をすること
 2. 神の啓示
 3. 神の性質
 4. 神のみわざ
 5. 人間
 6. 罪
 7. キリストの人格
 8. キリストのみわざ
 9. 聖霊
 10. 救い
 11. 教会
 12. 終末
-

第三部 神論

- 『キリスト教神学』
 - 13章 神の偉大さ
 - 14章 神の慈しみ深い善性
 - 15章 神の近さと隔たり: 内在性と超越性
 - 16章 神の三一性: 三位一体
- 『基督教教理入門』
 - 8章 神の教理
 - 9章 神の偉大さ
 - 10章 神の善良さ
 - 11章 神の三一性: 三位一体
-

第十一章 神の三一性:三位一体

1. 聖書的教え
 1. 神の唯一性
 2. 三位の神性
 3. 三一性
 2. 歴史的展開
 1. 三位一体の“経綸的”見方
 2. ダイナミック・モナルキアニズム
 3. モダリスティック・モナルキアニズム
 4. 正統的信条
 3. 三位一体の教理の本質的要素
 4. 類比の探索
-

第十一章 神の三一性:三位一体 序

1. キリスト教の特有の教理のひとつ
 2. 三位一体における立場ーキリスト論との関係
 3. 三位一体における立場ー实际的性質の問いへの答え
 4. 教理の聖書的基盤からスタート
-

第一節 聖書的教え 序

1. 神の唯一性の証拠
 2. 神である三位の存在
 3. 三一性の示唆ないし暗示
-

第一節 聖書的教え

第一項 神の唯一性

1. 古代のヘブル人の宗教－厳格な唯一神信仰
(十戒など)
 2. 偶像礼拝の禁止、多神教の拒絶
 3. 申命記六章－Shema
 4. 神の唯一性の教え－旧約に限定されていない
-

第一節 聖書的教え

第二項 三位の神性

1. 唯一神信仰を越えて、三位の信仰に導いたものはなにかー神と御父は交換可能な用語
 2. 神としてのイエスの立場ー神のかたちーmorpheの使用ーピリピ2:6
 3. 御子の全き神性ーヘブル1:2
 4. イエスご自身の自己意識
 5. 神としての聖霊ー使徒5:3-4
 6. 神の宮、聖霊の宮ー コリント3:16-17
-

第一節 聖書の教え

第三項 三一性

1. これは聖書が教えているものなのか
2. 伝統的聖句ー ヨハネ5:7、しかし弱い証拠
3. Elohimー三位一体的見方の暗示
4. 創世記1:26ー単数から複数へのシフト
5. 創世記1:27ー人のうちの神の像ー三位一体性の暗示、創世記2:24ーechad、申命記6:4
6. マタイ28:19-20ー洗礼式の式文、 コリ13:1ー祝祷
7. 第四福音書ー三位の同等性の最も強い証拠
8. 第四福音書の序文ー前置詞pros=with
9. 福音書ー父と御子の親密さと一体性
10. 明白な主張なし、しかし三位の神性と一体性の暗示、ゆえに教会は信条を形成

第二節 歴史的展開 序

1. 最初の1、2世紀－神学的・哲学的取り組みなし
 2. ユスティヌス、タティアヌスの強調点
-

第二節 歴史的展開

第一項 三位一体の“経綸的”見方

1. ヒポクリトス、テルトリアヌスー経綸的見方の発展
2. 三位一体理解のあいまいさーより正確な理解の試みは失望に



第二節 歴史的展開

第二項 ダイナミック・モナルキアニズム

1. 二世紀後半から三世紀ー単一神論(モナルキアニズム)
 2. 勢力的単一神論ーバプテスマのときイエスの上にキリストが降臨された
-

第二節 歴史的展開

第三項 モダーリスティック・モナルキアニズム

1. 様態論的単一神論
 2. 三つの名前・役割・活動をもった同一の人格
 3. 三位はときどき同時に現れておられるーバプテスマの情景
-

第二節 歴史的展開

第四項 正統的信条

1. 単一神論、アリウス主義の論争から正統的信条形成へ
 2. 三つの人格(ヒポスタシス)におけるひとつの実体(ウシア)
 3. カップドキアの神学者—共通の実体と複数の分かれた人格の概念の発展
 4. 様態論への反対—三神論の危険—三位一体論
 5. 御父において創始され、御子において遂行され、御霊において完成
 6. 神の実体の具体性と非分割性
 7. 実体(ウシア)は抽象的ではない、具体的リアリティである
-

第三節 三位一体の教理の本質的要素

1. 神は一体である
 2. 三位の神性
 3. 神の三性と一性は同じ考慮にない
 4. 三位は永遠である
 5. 三位の従属関係、しかし本質は同等
 6. 三位は理解できない
-

第四節 類比の探索

1. 用語、位格、相互関係の問題
 2. 卵－黄身・白身・殻、水－固体・液体・気体、ズボンは単数か複数か？
 3. 三神論や様態論の傾向、神の本質の分割、などの危険性
 4. アウグスチヌス－神の像につくられた人間－三位一体の反映
 5. 人間の心理的領域－自問自答、複数の役割－夫・父・神学校教師・米国市民
 6. 人間の立場・役割－緊張・競争、しかし神－完全な調和・対話・愛
-

第四節 類比の探索

1. 対人関係からの類比――卵性双生児
 2. 唯一性への強調と三性への強調――論理的に同時に不可能
 3. アウグスツウス・ストロンゲー光の性質
 4. 三位一体の愛と交わり――キリストのからだなる教会の模範
 5. テルトゥリアヌス――三位一体の教理は、人間に構成されず、神に啓示
-

三位一体について

- それを説明しようと試みなさい。そのときあなたはあなたの知性を失うでしょう。
 - しかしそれを否定してみなさい。そのときあなたはあなたの魂を失うことになるでしょう。
-